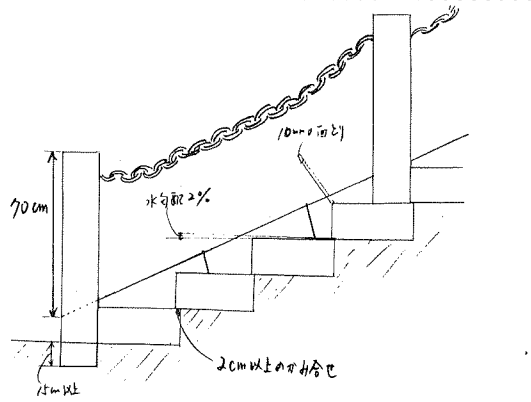
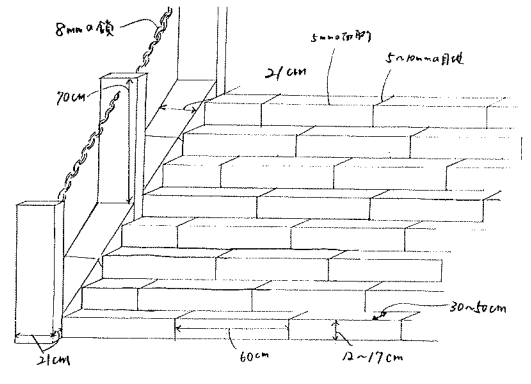


当社では徐々に参道の整備を進めているが、この程板橋



の徳丸講中により大鳥居前広場よりの十二段が奉納された。



この石段は既に整備された神社前の石段を基に、石材は白御影石を用い踏面は滑らない加工がされ一段の高さは十二cm、十七cm、踏幅は三十cm、五十cmの間で階段の傾斜に合せ決められた。袖を設け三、四段に一对の銘を刻む石が立てられた。

今後拝殿前まで同じ様に整備を進める予定ですので御講中皆様の御協力をお願い申し上げます。

恒例の神楽講習会

当神社では、三月九日、十日、十一日の三日間は、東京

舞われている演目は十六座であり、連日受講生が各演目別にそれぞれ講習が熱心に執りおこなわれた。

御岳山文化講座が開催

都無形民俗文化財に指定されている太々神楽の講習会がおこなわれた。

江戸期における演目数は二

十四、五種を数える。現在当

神社の神職が代々世襲して、

「御岳山文化講座」が三月二十二日、御岳山ビクターセンターで開かれ、約四十人が

参加した。

この講座は御嶽神社の歴史文化をより多くの人達に知っていただくとうと、毎年三月、九月に開いている。今回で五

回目、同日は日本風俗史学会員齋藤慎一先生が「八代将軍吉宗と御嶽の御神宝について」

と題し、畠山重公奉納の赤糸威大鎧の吉宗公二回の上覧に

関する古文書解説当について講演。講演後は質疑応答がおこなわれ、神社宝物の理解を深めた。

あとがき

花のたよりが今か今かと待ちに待って、いざ花見と思いしや無情の花ちらしの雨が降り、初夏を感じさせる暑い日と、遅霜とが入りみだれ天気定まらぬこの頃、五月晴れはもうそこにきております。

東村山壹基替講齋藤光倫様玉稿を賜りありがとうございます。

皆様方のご寄稿をお待ちいたしております。

平成九年四月二十日発行

編集 武蔵御嶽神社

印刷 (株)成和印刷

表紙写真 埼玉県和光市 未棟 義彦

表紙写真 埼玉県和光市 未棟 義彦